

教育

edu@asahi.com

日曜～火曜掲載

海の外へ居場所みつけた

いま No.1647
子どもたちは

飛び立って輝く ①



①友達と新しく入る高校を見に行くユウセイさん
②ニュージーランドではアクティビティも楽しみ、釣った魚を手にするユウセイさん
③いずれもニュージーランド、本人提供

ニュージーランド北島のコロマ
ンデル半島にある人気のリゾート
タウン、フィティアンガ。海と山
に囲まれた語学学校「エバコナ・
エデュケーション」で、静岡県出
身のユウセイさん(16)は今年1月
末に卒業を迎えた。ここで1年間
学んだことを生かし、2月から現
地の公立高校に移る。

「日本よりずっと毎日が充実し
ています」
笑顔でそう語るユウセイさんだ
が、以前から留学したいと考えて
いたわけではない。小学生から塾に通い、成績は悪
くなかった。「でも、学校では悪
ガキでした」
宿題はやらない。友達ともよく
ケンカをし、馬乗りになったこと
も。中学受験をし、進学校の私立
中高一貫校に入学した後も、友達
の悪口を言ったり、相手とじゃれ
合ったりケガをさせてしまったり。
親子で学校に呼び出され、叱られ
た。

勉強もしたくなくなり、受験勉
励の蓄積がなくなった中2の後半
からは、得意な理系科目以外は成
績が下がりに続けた。中3になる
と、毎日のように先生から叱ら
れ、限られた友達以外は離れてい
った。
「基本、学校には行きたくなか
った。教室でも1人になったし。

でも、行かないわけにも……」
留学しようかな。
そのまま、上の高校に進学する
のかという両親の問いかけに、そ
うつぶやいたのは、中3の2月の
ことだった。歯科医の両親は、海
外留学や海外在住経験もなく戸惑
ったが、留学会社を訪ね、エバコ
ナを紹介された。校長が日本人女
性で、手厚い教育だと聞き、すぐ
決めた。
2カ月も経たない4月にニュー
ージーランドへ。日本では中3の後
半は、ほとんどの授業で机につ
ぶしていたが、現地ではすべての
授業を真面目に聞いた。海外に來
たからには、英語を話せるよう
なって生まれ変わりたい、と強く
ユウセイさん。

「何もかもが自由で、日本とは全
く違う雰囲気だった。ただ、海に
勝手に入るのだけは禁止されてい
た。ある時、何人かで海に入って
しまい、叱られると覚悟した。と
ころが、学校が取った方法は、海
岸警備隊員(ライフセーバー)を
呼ぶことだった。海で起こる様々
な危険な現象についての授業があ
り、自然の厳しさを痛感した。

「自然の中でみんな体を動か
して遊び、みんなで考えて学ぶ。
地域の人も交流できる。登校す
るのが憂鬱な日は一日もない」と
ユウセイさん。

年末年始に帰国した時の生き生
きした姿に、両親も留学会社の担
当者も驚いた。紹介した「ISCC
留学ネット」の大場規之代表(56)
は一彼のように、日本の閉鎖的な
学校でつまずき、自由な海外をめ
ざす子の相談は年々増えている「
と云う。
ユウセイさんは、同じように日
本の学校でつらい思いをしている
子に、「逃げてもいい」と言いた
い。「環境を変えて楽になること
は、人として合理的な手段だか
ら」

(宮坂麻子)